

令和 4 年 8 月 5 日

保護者各位

萌丘東幼稚園 萌丘東保育園
園長 佐々木文彦

昨今のコロナ情勢を受けて

新しいコロナウイルスの急速な拡大。今後どうなっていくのでしょうか。多くの皆様が、疲れや困惑、不安など、何とも言えない気持ちを抱えながら生活しているのではないのでしょうか。

現在の近隣の感染状況。また、園に報告される陽性、濃厚接触者の報告が日に日に増えています。落ち着く様子もなく、この状況が長い期間続くのではないかと考えています。皆さんが同じ思いを共有して園を利用していただくことが、継続的な開園のためには大切なのではないかと考えています。園の考え方や現状などをお伝えしておこうかと思っています。

考える優先順位

コロナが流行り出してから常にこのことを考えてきました。

第 1 に、こども達には毎日いつも通りの東園生活を送ってもらいたい。

第 2 に、保護者の就労などの社会生活の妨げにはできるだけなりたくない。

第 3 に、園からコロナを出したくない。

常に受け入れていきたいのですが、それではあっという間に感染拡大してしまうことになり、そこが困りものです。これからも優先順位と現状を考えて総合的に判断してまいります。

陽性報告が遅くなっている

現在、医療機関の予約が取れにくいこともあり、発熱からの陽性判明がかなり遅くなるケースが出てきております。その分、皆さんへの周知も遅くなり、その間に感染が広がってしまう可能性が高まっています。

感染の広がりを防ぐために

情報が遅くなってしまう以上、感染を免れるのは難しくなるでしょう。そのため、常にリスクを理解しつつ開園し、登園する人数を減らしてリスクを下げることで、開園を続けていくためにできる手段ではないかと考えています。

今後、休園や学級閉鎖はあるのか

現在のところ、家庭保育や早めのお迎えのご協力のおかげで通常時より在園人数を押さえて保育できています。おかげでリスク軽減に繋がっていますので、学級閉鎖や休園を行わずに開園できている状況です。しかしながら、長期的に見ると難しさも感じており、人数が通常になってくると、状況が変わってきた場合には、休園や学級閉鎖をするケースも出てくるものとお考え下さい。

全国的に保育者の発生率の増加

医療機関に限らず、保育現場のひっ迫についてもニュース等でご存知の方も多いかもかもしれません。園としても感染症対策は続けていきますが、他の園の話などを聞く限りでは、配置人数的に学級閉鎖等をしないと保育維持が難しくなる場合もあるかと思っています。同時に、子育て世代も多く、お子さんの学級閉鎖等の影響を受けて、配置人数が難しくなる場合もあるかと思っています。

0～2 歳児はマスク非推奨

国のガイドラインにも 0～2 歳児のマスク利用は推奨されていませんので、今後も園では利用しない考えです。その結果、保育をしつつ飛沫等を防ぐことが難しい状況です。仕事の兼ね合いがあることは承知していますが、お子さんや保育者が高いリスク状態になりやすいことをご理解いただいて園をご利用ください。